

永渕ふみたか通信



佐賀市議会
自民政新会

第5号

平成29年3月31日発行
発行者/永渕 ふみたか



佐賀市2月定例会

2月定例会は、2月28日に開会し、3月23日に閉会しました。当初予算9件、補正予算7件、条例予算11件、一般6件、人事4件の計37議案をすべて可決しました。平成29年度の一般会計当初予算は前年度当初に比べて0.7%減の941億円となりました。

平成29年度当初予算主要事業の主なもの

- 佐賀駅周辺整備構想推進事業(企画政策課) 1,650万円
- 佐賀駅周辺整備に係る基本計画の策定に要する経費
- 明治維新150年事業(企画政策課) 1,500万円

●明治維新150年を契機とした情報発信に要する経費

●多目的広場整備事業(緑地推進課) 2億236万円

●新栄公民館及び若楠公民館の隣接地を多目的広場として整備するための用地造成等に要する経費

●発達障がい児通園施設運営事業(障がい福祉課) 1,519万円

●発達障がいに対する療育支援を行う障がい児通園施設の設置等に要する経費

●子どもの学習支援を兼ねた居場所づくり事業(こども家庭課) 305万円

●子どもの貧困対策として実施する地域における支援体制構築に向けた取組(モデル事業)に要する経費

●植木橋木角線外道路整備事業(道路整備課) 2億1,800万円

●植木橋木角線外3路線の整備経費

●保育士等研修会開催経費(保育幼稚園課) 119万円

●潜在保育士等を対象とした保育士チャレンジ研修会等の開催に要する経費

議員から提出された意見書3件については、そのうちの1件が可決されました。

●指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書

一般質問 芸術に対する佐賀市の考え方を問う！

質問 ①市民芸術祭は一つの会場で完結すべきではなく、街に飛び出すべきでは？

②市のパブリックアートとはどこを指すのか？

③佐賀駅周辺整備構想に芸術的視点は反映されているのか？

④オブジェ*などのアート作品を佐賀駅に設置する考えは？



答弁 ①今後の芸術祭のあり方を考える上では、行政だけではなく、市民のイベント等を巻き込んで芸術祭のパートナーと位置づけるなどして上げていくことは重要と考える。

②市の施設等々では、市役所の南側、文化会館の西側などで彫刻が立地している。また、捉え方によれば、中央本町や中央大通りに街路灯を利用しての絵画の展示もある。

③佐賀らしさの表現などを検討していく中で、文化芸術的な要素の捉え方も考慮すべきものと認識している。

④意識して検討していきたい。

ここがポイント！ 私は、先日、佐賀県立美術館で開催されていた池田学展 The Pen —凝縮の宇宙—を鑑賞しに行きました。その緻密さとダイナミックさを共有したその絵画の世界感に終始圧倒されました。そこで佐賀市が芸術に対してしっかりとした考え方を持っているのかを質問してみたいと考えました。私は、佐賀市が文化財の保護に関しては非常に熱意をもって臨んでいると感じるのですが、芸術に関して、同様の熱意を持って臨んでいるのかということに対して疑問を感じています。そこで、今議会、佐賀市の考える芸術の考え方を聞きました。今回の答弁で、美術、音楽、演劇、映画などに関して、佐賀市より言及がありました。行政機関が芸術に関して言葉を持つことは重要であると感じています。言葉は使用することで、変わる部分があると思います。また、今年11月に開催される佐賀市民芸術祭に関して、ひとつの会場で完結させるのではなく、街に飛び出すべきではないのかと考え質問致しました。先日視察した千葉県柏市では、

*オブジェ…主に美術用語として用いられ、作られた美術作品を指す。

「いろつけアーティスト募集！柏の葉 T-SITEいろつけ KIDS」というイベントが開催されていて、この春にオープンした商業ビルの1Fのショーケースと2Fの大きな壁にアーティストの方がイラストを描いて、それに子どもたちが色塗りし、大きな壁を完成させるというような試みをしていて、佐賀市民芸術祭も、このイベントのように街全体を表現の場所と考えていくべきではないかと思い質問しました。また、パブリックアートの必要性も佐賀市に訴えました。パブリックアートとは、美術館やギャラリー以外の広場や道路や公園など公共的な空間(パブリックスペース)に設置される芸術作品を指します。アメリカニューヨークに、レッド・キューブという日系アメリカ人のイサム・ノグチさんという方が作ったパブリックアートが設置されているのですが、ニューヨークを象徴する個性的なオブジェだと言われていて、観光客もニューヨークに来た際は、必ず写真を撮るそうです。佐賀市では、現在、佐賀駅の周辺整備が始まろうとしているわけですが、私はまちづくりの構想に芸術的な視点が必要であると考えています。国際情勢を見ても、争いが絶えない時代です。しかし、人が創造して作る芸術というものだけは、人に平等であると感じています。佐賀駅を没個性なものにしないためにも、また、後世の佐賀市民にメッセージを残す意味でも、オブジェなどのアート作品を佐賀駅に設置してみてもどうかと思いますが、皆様はいかがでしょうか？



ニューヨーク・レッドキューブ



佐賀駅北口



12月9日
第93代伊勢会の同期会



1月1日
元旦恒例の自民党立ち



1月13日
若楠小での月二回の校内放送日



1月17日
明日の若楠を考える会



1月23日
千葉県柏市未来子ども学校視察



1月24日
豊島区にて女性に優しいまちづくり施策視察



2月2日
有田世界炎の博覧会スタッフ同窓会



2月6日
佐賀市在住の女性との意見交換会



2月12日
サガン鳥栖佐賀市激励会



2月23日
高木八幡宮にて本厄祓い式



3月14日
自民党さが県内一周リレー遊説



3月18日
さが桜マラソン前夜祭ランナースナイト

編集後記

2月定例会が3月23日閉会しました。今議会、佐賀市事務分掌条例が改正され、子育て支援部、子育て政策係が新設されました。佐賀市もいよいよ、子どもの貧困化に真剣に取り組む姿勢を示し始めました。佐賀市の進学率データによると、ひとり親家庭、就学援助対象者に関しては、全体よりも高校進学率が約3%低いという結果が出ています。子どもの学習支援を兼ねた居場所づくりが、今、佐賀市に求められています。今後の佐賀市の取り組みに注目していきたいと思います。

永渕ふみたか

〒849-0928 佐賀県佐賀市若楠3丁目3-23

TEL.0952-38-2323
FAX.0952-31-2025

インターネットで「永渕ふみたか」と検索!!
活動の日々をブログにて発信中です。

お気軽に
ご相談ください。



プロフィール

- 昭和51年8月19日生まれ(40歳)
- 佐賀北高等学校卒(30期)
- 平成25年10月佐賀市議選挙初当選(1期目)
- 佐賀市議会 自民党 自民政新会所属
- 文教福祉委員会 所属
- 議会広報広聴委員会 所属
- 議会運営等改革検討会 所属
- 佐賀中部広域連合議会 所属
- 都市計画審議会 所属
- 若楠校区放課後子ども教室会長
- 若楠校区子ども会会長

『永渕ふみたかホームページ』もご覧ください。

↑ <http://nagafuchi-fumitaka.com/>

f <https://www.facebook.com/nagafuchifumitaka/>

表面もご覧ください。